

2022年6月吉日

令和4年度 日本学校図書館学会研究発表大会要項

日本学校図書館学会会長 吉富 芳正

令和4年度日本学校図書館学会研究発表大会における研究発表は、会場の収容人数の50%程度で対面による実施をしながら、同時にオンラインによるライブ配信も行います。また、「研究発表要旨集」は、電子版のみ発行します。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

1. 日程：2022年9月17日（土）9時30分～16時30分頃
2. 主催：日本学校図書館学会
3. 会場：昭和女子大学 1号館5階 5S33（東京都世田谷区太子堂1-7）
4. 研究発表大会参加方法

「8. 研究発表大会参加者ポリシー」にご賛同いただくとともに、本学会ホームページからリンクを張ったサイトで7月22日までに「研究発表大会参加申し込み」フォームに必要事項を記入する。大会参加費は無料。

5. 研究発表部門

- (1) 一般研究発表・・・会員の問題意識に基づく、以下の内容等にかかわる研究
 - ① 学校図書館に関する基礎理論、比較研究
 - ② 学校図書館に関する歴史的研究
 - ③ 学校図書館の経営研究（システム、メディアセンター）
 - ④ 読書活動とその指導理論と方法
 - ⑤ メディアプログラム（読書活動とその指導研究を含む）
 - ⑥ 学習メディア（読書資料を含む）と利用
 - ⑦ 情報活用能力（情報リテラシー）と指導（学校図書館利用指導を含む）
 - ⑧ 学校図書館の人的条件に関する研究（制度・養成・資格）
 - ⑨ その他、学校図書館にかかわる諸問題に関する調査研究や実践研究
- (2) 課題研究発表・・・本年度の研究課題にかかわる研究

【研究課題】

「情報化社会と学校図書館－情報活用能力の育成と探究的な学びの視点から」

【課題設定の理由】

GIGAスクール構想が本格的にスタートする中、これらを推進する拠点としての学校図書館の役割は未だ明確になっていないと言えない。また、学校図書館の「読書センター」や「学習センター」としての機能に関わる議論に比べて、「情報センター」としての機能に関わる議論が十分なされていないと言えない。児童・生徒が本格的にPCやタブレットなどのデバイスを使用しデジタ

ル教材の利用の機会が増える中で、子供と教職員にどのようなニーズが生まれ、学校図書館はそのニーズにどのように応えられるか検討する必要がある。さらに、子供の情報活用能力育成の視点に立った研究の推進において、デジタルだけではない紙媒体の資料やモノの活用についても検討し、両者のよさと活用方法について検討していく必要がある。これらの視点に立ち、GIGAスクール構想及び探究的な学びを検討する拠点としての学校図書館のあり方を提起していきたい。

- ① 課題研究発表に先立ち、30分程度の研究課題に関する基調提案を行う。
 - ② 課題研究発表は、2～3本を予定している。
 - ③ 課題研究発表終了後、会場全体で30分程度の質疑と総括討論を行う。
- なお、基調提案・課題研究発表・総括討論は、応募等の状況で実施しないことがある。

6. 研究発表申込に当たっての留意事項

- (1) 研究発表申込者は、本学会の会員であること。
- (2) 9時30分から16時30分までの間で研究委員会が指定する時刻に発表が可能であること。
- (3) 研究発表は、個人研究及び共同研究（発表申込時に代表者を明記のこと）とする。
- (4) 研究発表の時間は、一般研究発表は、発表15分と質疑応答10分、合わせて25分とするが、全体の発表数等で調整を行うことがある。
- (5) 研究発表は、1会員1件とする。また、他学会等との同一内容での発表は認めない。
- (6) 研究発表希望者は、発表の申し込みを7月22日までに本学会ホームページ上で行う。その際、400字程度の発表の要約を記入する。
- (7) 申し込みの受理は、役員による審議により発表が許可されたことをもって、受理となる。研究発表の可否は7月22日以降、速やかにメールで連絡する。
- (8) 発表者は発表要旨を8月15日までにメール（shirasu@swu.ac.jp）で提出する。「研究発表要旨集」は電子版のみ発行し、本学会のホームページからダウンロードできるようにする。発表要旨が期日までに提出されなかった場合は、発表を取り消すことがある。
- (9) 発表要旨の体裁等は以下の通りとする。
 - ① A4判、横書きとし、Wordで作成し、WordとPDFの両方で電子的に提出する。
原則として、提出されたPDF原稿のレイアウトの通りに「研究発表要旨集」に収録する。
 - ② 発表要旨は1発表につき2ページとする。（表・図・写真・参考文献などを含む）
 - ③ 共同研究の場合、主たる発表者に○印を冠すること。
 - ④ 具体的な形式は、以下の通りとする。（別紙参照）
 - 余白 上下、左右各25mm ○文字数 44文字×40行
 - 段組み 本文のみ2段組み（1段20文字）
 - 題名及びサブタイトル、小見出しはMSゴシック、その他はMS明朝
 - 文字の大きさは、題名（14P）、サブタイトル（12P）、それ以外（10.5P）
- (10) 研究発表者は、発表当日「発表補助資料」を配布することができる。ただし、印刷等は発表者自身が行い、100部用意し、大会当日受付にて配布できるようにすること。

7. 参加申込に当たっての留意事項

- (1) 参加申込者は、本学会の会員でなくてもよい。参加費は無料。
- (2) 会場は定員を設け完全予約制とする。参加希望者は、本学会ホームページからリンクを張ったサイト (Peatix) で申し込む (先着順)。
- (3) オンラインによる参加者は、各自のパソコンなどを用いてオンライン会議システム (ZOOM ウェビナー) によって視聴する。こちらは定員を設けない。
- (4) オンライン会議システムに入るために必要なミーティング ID とパスワードは、大会前日の9月16日 (金) に申込者にメールで知らせる。
- (5) 大会当日、オンライン会議システムに入れないなどのトラブルが生じた場合に備えて、電話による相談窓口を設ける。

8. 研究発表大会参加者ポリシー

【個人情報について】

1. 個人情報の収集に当たっては、利用目的を明示した上で必要な範囲の情報を収集し、利用目的を公表し、その範囲内で利用します。
2. ご提供いただいた個人情報は、本学会のプライバシーポリシーに従い管理します。ただし、参加申込者へのサービス向上のため業務を委託する委託先に提供者自身により公開される個人情報については委託先の個人情報保護方針に従うものとし、本学会の管理の対象外とします。
3. 当日の画面上の表示名は実名をお願いします。実名ではない場合は、全体が見られる画面とは別の待機室に移動していただく場合があります。

【著作権について】

1. 本大会が提供する情報に関する著作権その他の知的財産権は当学会又は当該情報の提供者に帰属します。
2. 参加者は、本オンライン実験教室が提供する情報を、当学会又は当該情報について権利を有する者の事前の承諾なしに、自ら又は第三者を通じて転載、複製、出版、放送、公衆送信その他知的財産権を侵害する一切の行為をしてはならないものとします。

【カメラ、マイク、チャット、画面共有の設定について】

1. 本大会では、視聴者各自のカメラおよびマイクは原則としてOFFにさせていただきます。質問や意見がある場合は、文字入力によって発言していただくようにします。
2. スクリーンショット等による無断チャプター、映像や音声のSNS等での拡散は、参加者の肖像権保護の観点から禁止とします。
3. 本大会の様子は記録としてビデオ記録を当学会で保持します。一部報告として公表することがありますが、本人の同意なしに開示することはありません。
4. 画面共有は発表者以外使用できない設定にします。

